

Xリスク管理表ガイドライン

～ USDMを応用したXリスク管理表で要因を的確に表現し、
リスクマネジメントの実効性を高めよう！ ～

リスクマネジメントうまくいっていますか？
こんなことが起きていませんか？

リスクマネジメントをやってはいるのだけど...

- ・ 何かあまり手ごたえがない
- ・ 機能しているように思えない
- ・ どれだけの効果が出ているのか分からない



USDMによる仕様化技術の応用として、
要求の仕様化のスキームをリスク管理に
応用することで効果的なリスク対応策を
引き出す考え方が言及されています。

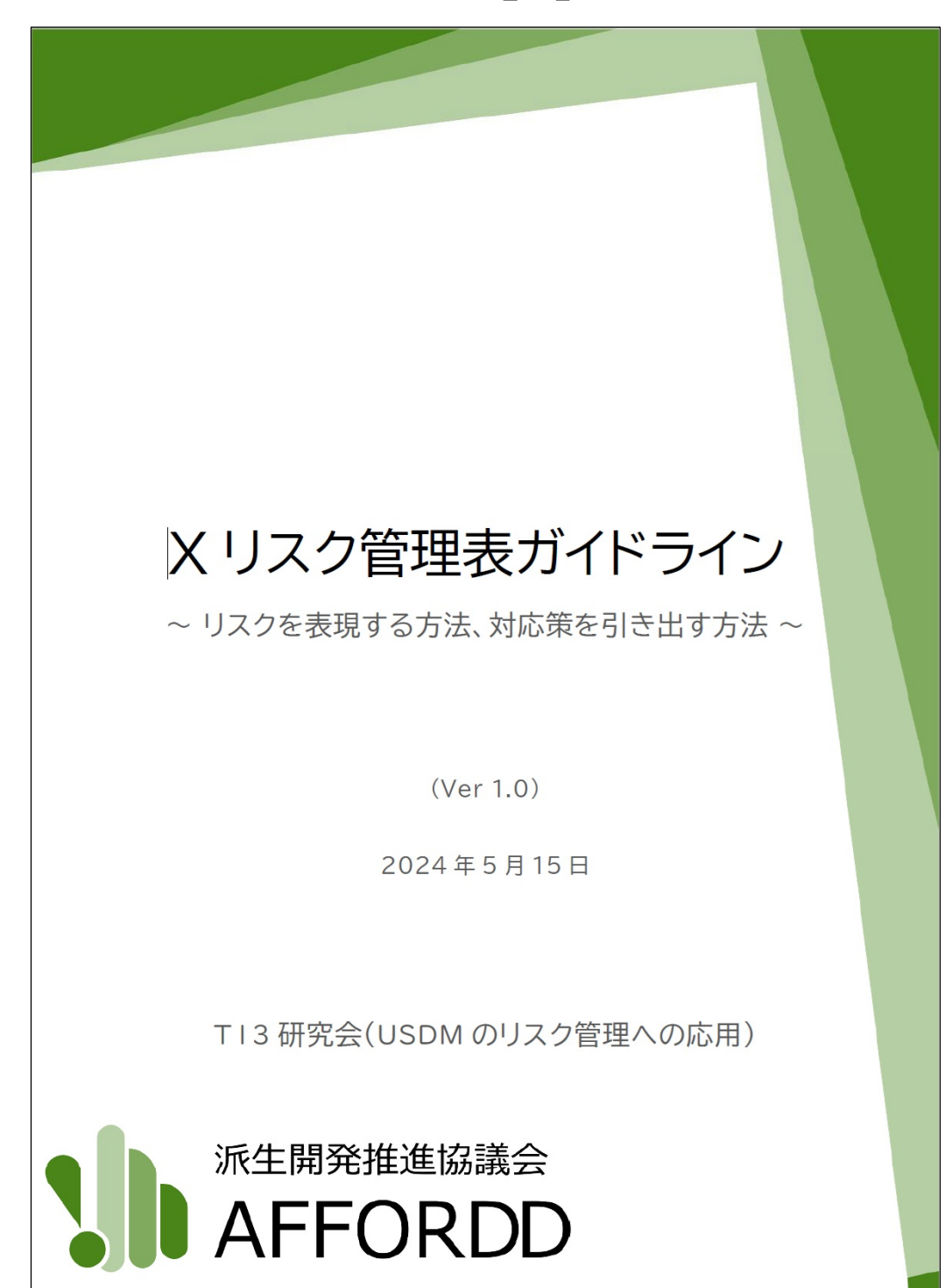
リスクマネジメントの実効性を
高めるポイントは、

- ・ 要因をしっかりと掴み
的確に表現すること
- ・ リスクと要因を階層構造で表現し、
そこから対応策を引き出すこと

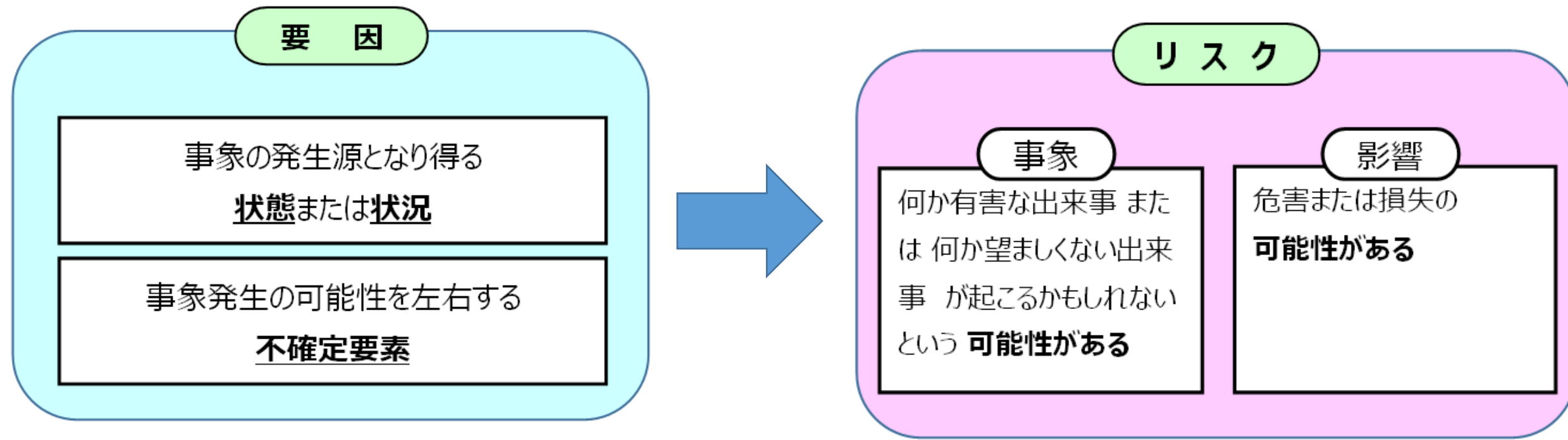
ダウンロードはこちら→



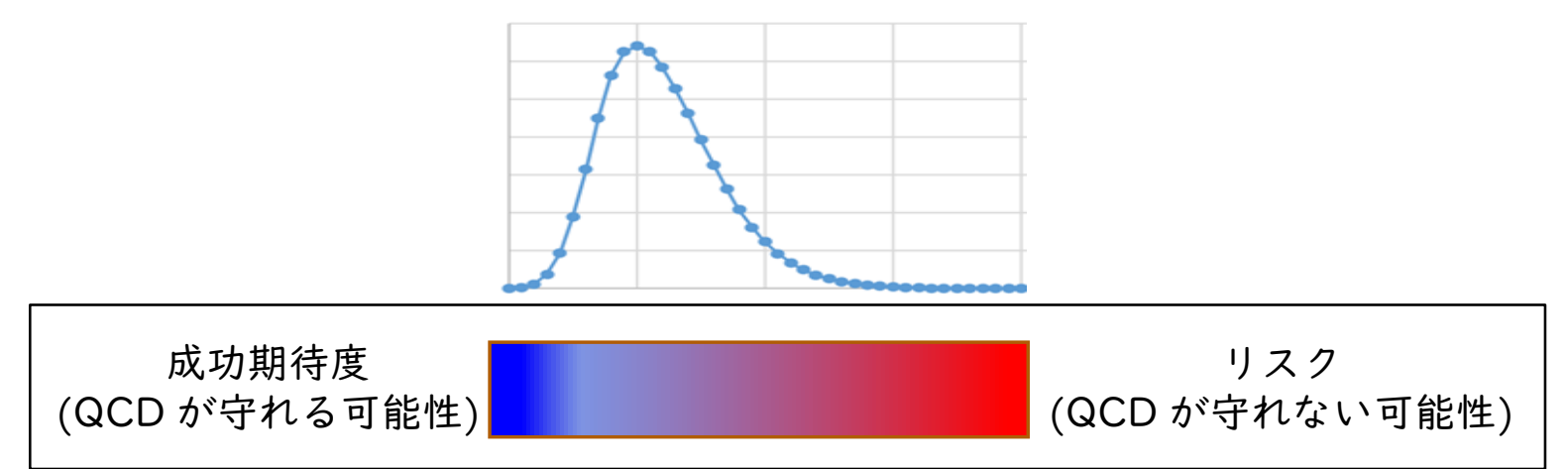
ガイドライン作りました。



リスクの概念



リスク(可能性)のイメージ



要因の適切な発見がリスクマネジメントの基本かつ重要点

リスクの要因を見つけだす8つの視点

- ①「約束」から要因を見つける
- ②「失敗」の定義から要因を見つける
- ③「仮定」から要因を見つける
- ④ 前回との「差」から要因を見つける
- ⑤「新規性」から要因を見つける
- ⑥「変化」から要因を見つける
- ⑦「コンプライアンス(法令遵守)」の視点から要因を見つける
- ⑧「不安」から要因を見つける (不安の素、不安の種を探す)

要因発見マトリクス(具体例)

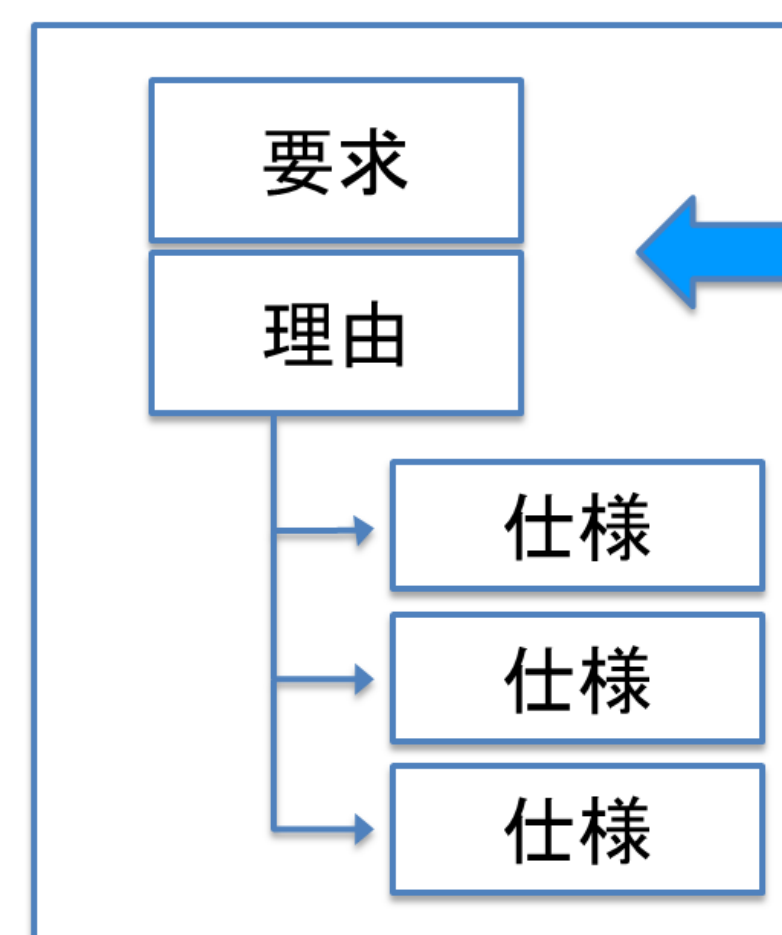
	要因を見つけるための視点							
	「要求、コスト、納期の約束」から 見つける	「失敗」の状態の定義から 見つける	「仮定」から見つける	前回との「差」から見つける	「新規性」から見つける	「変化」から見つける	「コンプライアンス」の視点から 見つける	「不安」から見つける (不安の素、不安の種)
要因階層分類 (RBS)	① 要求、前提・制約							
	機能要求							
	品質(非機能)要求							
	前提、制約							
	② プロセス・マネジメント							
	ソフトウェア開発プロセス・方法論							
	コスト見積り(サイズ見積りを含む)							
	スケジュール							
	コミュニケーション							
	外注管理							
	③ 成果物(スコープ)							
	納品成果物(プロダクトスコープ)							
	アクティビティ(プロジェクトスコープ)							
	④ リソース							
	メンバ(ヒューマン・リソース)							
	予算、資金調達							
	機材、インフラ							
	⑤ 社内環境面							
	社内/他プロジェクトの動向							
	ステークホルダー							
	社内のヒューマン・リソース面							
	⑥ 外部環境面							
	派遣技術者の雇用環境							
	ライバル社の動向							
	法律など制度面の変化							

USDMの階層構造をリスク管理表に応用

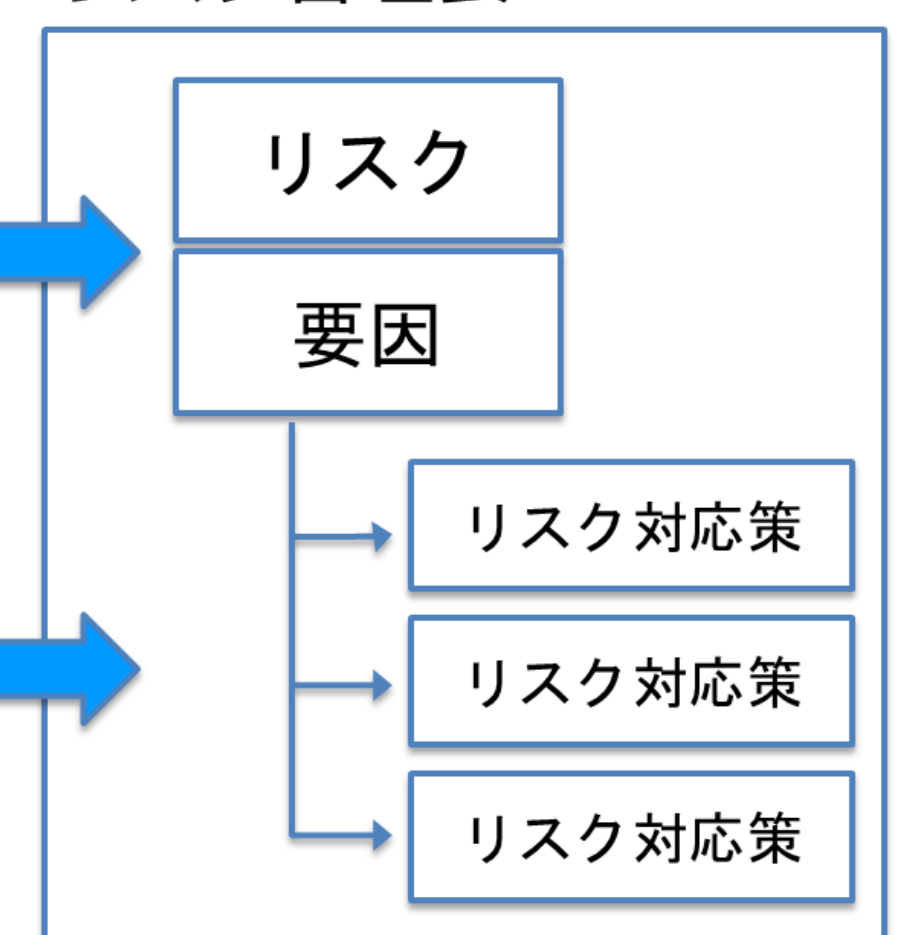
USDMの要求仕様書フォーマット(最小構成)

カテゴリ名 (記号)	要求	(要求ID)	
		理由	
		説明	
	<仕様グループ>		
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	
	<仕様グループ>		
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	
	<仕様グループ>		
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	
	□□□□	(仕様番号)	

要求仕様書



リスク管理表



階層構造の中で、リスクと要因を整理して、そこからリスク対応策を引き出します。

発生確率・影響度 (After)		損失額
定性的 (5段階)	定量的 (%)	期待損失
2	30	
3	50	¥525,000

 派生開発推進協議会
AFFORDD